



# 朝香宮殿下の 道路に就ての御物語

京都府土木部長

村山喜一郎 謹記

時代の進展、社會の進歩に伴ふ一般社會人士の道路に對する關心は日と共に、眞面目を加へ延いては道路改良の念となつて、社會に擴充し行かんとするの狀況と成り來つた事は、寔に喜ばしい現象として吾々の齊しく御同慶に堪えぬ次第である。即ち吾々道路行政の任に當る者は、道路の公的職分を理解せしめ、之を尊重せしむる事に一段の努力を拂ひ、以てこの芽生え來つた所の道路改良の念を培ひこれを成長せしむべき重大な責務を感じる次第である。

即ち以下述ぶる一挿話の有する使命亦此處に在りと云ふを得るであらう。

畏れ多いことながら朝香宮殿下が至極御聰明であらせられ、下萬般の事共に御理解を有たせらるゝ、こいふ事は日頃新聞紙の報する所である。私が度々殿下に拜謁を賜はつた中、或日のこゝ、殿下には何時もの通りいゝ御氣輕に種々御物語り遊ばされた末、突然日本の道路はまだ悪いね、と仰せられた。自分は只、恐縮して居るこゝ、殿下は我々の思ひも及ばなかつた専門的の方面にまでお話を進められ我國の道路を御物語遊ばすのであつた。

仰せらるゝに我國道路の悪いのは結局其の舗装と修繕の行互らぬ事に原因するものと思ふが、先づ舗装につき考へるに、我國の様に國、地方團體共に財政的に餘り恵まれて居らぬ國に於ては、道路の舗装等に就ても直に黃金國アメリカの如きに範を採るこゝ云ふ事は考へ物である。此點財政的立場に於て比較的困難な地位にある佛蘭西の探りつゝある方法に寧ろ適當なる教を得るこゝが出来るではあるまいか。彼の國に於ける道路、舗装の多くを見るに、先づ路面を掘鑿して割石を敷列べ、石屑を以てその隙間を埋め之

に水を撒き、ローラーを以て十分締めた上コールドタールを塗りて舗装を爲し、最後に砂を撒布して仕上を終る。この工法を以てすれば大した費用も要らず工事も比較的迅速に進行し得るから我國の如き舗装すべき道路を數多く持ち而も經濟的不如意の國にまつては、實に適當なものであると思ふ。且この舗装は、地下埋設物の整理が未だ充分でない我國の如きまつては、埋設工事の爲の路面掘鑿の爲にも、又は其の跡地修理の利便の爲めよりするも、極めて有利なものがある様考へられる。

次に道路の修繕であるが、我國に於ては道路の新築等に力を入れる割合にこの修繕を等閑する傾がある様に思はれる。尤も道路自體が悪いので修繕に相當の經費と時日を要するの結果ではあらうが、もう少し破損の甚しからざる間に之を修復する様に努める必要があると思ふ。佛蘭西に於ける多くの都市は、修路工夫が寢宿りのすることの出来るトラックを有つて居て、これに油を常備して置き毎日修路工夫がこれを運轉して道路を巡視し破損の個所を發見す

るに直に道路側に置かれある修復用石材置物（約百米毎に在り）より材料を持ち來つて之を補填し携帶せる油を以て、上塗りを爲し修理する、道路の維持修繕といふことに就て最も大切なことは損傷を大ならしめざる様迅速復舊する事であらうと思ふが、この佛蘭西に於ける方法は大きいに參考すべきものがあるを考へる。

道路を語る時に、之を引離すことの出來ぬのは交通整理の問題である、我國でも近年此の問題は實際上の必要よりして大いに研究せられ著々其の効果を擧げて居る様であるが交通繁劇なる街路に於ける街路横過個所の設定の如きは先づ以て研究せらるべき問題であると思ふ、次に一般交通の整理に就ても警察官を益々訓育して之が任に當らしむべきは勿論ではあるが、更に進んでは路面下に設備されたる電燈の自動的點滅に依る整理方法の如きに迄漸次想を致すべきであらう。尤も斯の如きは道路の舗装が相當整備された後の問題であらうが、……。

宮殿下の御物語は諄々として盡くる所を知らない。高貴

なる御身分に渡らせらるゝ殿下にしてかくの如き簡易舗装、交通整理等の如き専門的方面に迄も御言及になり親しく吾々を御督勵遊ばさるゝといふことは日頃、如何に殿下が我國の道路に付き御關心遊ばされ、之が改善を希望せられつゝ、あるかを物語るものであつて、私は此のお話を承つて恐懼するに共に、斯くの如き御理解深き宮様を有する我國道路行政の將來に對して衷心湧き出づる歡喜の情を抑へる事が出來なかつた。益々不斷の努力を以て自己の職責に生きたる宮殿下の思召に副ひ奉るべきことを痛感しつゝ、御前を退出したのであつた。（文責在記者）